

外科後期研修プログラム

I. 研修目的

後期外科研修においては、初期臨床研修を終えた研修であることより、さらに踏み込んだ外科の診断、治療および外科関連領域の必須の知識、技術、理論を習得し、未知への探求心を養うことを目的とする。

II. 研修内容

●研修期間：3年間

次項IV到達目標を実践することにより、外科専門医資格取得のための症例数を経験する。場合により心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科へのローテーション研修も可能。

III. 到達目標

(1) 基本的診察ができる。

- ・病歴の聴取と記載
- ・全身、局所の理学的所見の把握

(2) 以下の基本的検査を適切に指示し、結果を解釈できる。

- ・検尿、検便
- ・血液検査一般
- ・ガス分析
- ・肝機能検査
- ・腎機能検査
- ・肺機能検査
- ・細菌学検査
- ・単純 X 線検査
- ・CT 検査
- ・MRI 検査
- ・RI 検査
- ・内視鏡検査

(3) 以下の基本的検査を、必要に応じて自ら検査し、結果を解釈できる。

- ・超音波検査
- ・造影 X 線検査

(4) 以下の基本的手技の適応を決定し、実施できる。

- ・静脈注射、静脈ライン留置
- ・動静脈採血
- ・胸腔、腹腔穿刺、ドレナージ
- ・導尿
- ・胃管の挿入
- ・中心静脈カテーテルの挿入

(5) 以下の基本的治療法の適応を決定し、実施できる。

- ・一般薬の適応と使用
- ・抗生物質の使用
- ・鎮痛剤の使用
- ・ステロイドの使用
- ・高カロリー輸液
- ・輸血、血液製剤の使用
- ・経腸栄養法
- ・呼吸、循環管理
- ・食事療法

(6) 以下の基本的治療法の必要性を判断し、適応を決定できる。

- ・放射線的治療
- ・抗腫瘍化学療法

(7) 以下の基本的手術手技の適応を決定し、実施できる。

- ・無菌操作
- ・糸結び、抜糸
- ・止血
- ・切開
- ・縫合

(8) 日本外科学会外科専門医修練カリキュラムにおける、到達目標 3 の手術の適応を判断し、指導医の指導のもと、術者または助手として実施できる。

- (9) 手術摘出標本のスケッチ、写真撮影ができ、肉眼所見を述べることができる。
- (10) 患者の手術説明に立ち会い、インフォームドコンセントについて理解できる。
- (11) 医療チームの一員としての役割を自覚し、チーム医療を遂行できる。
- (12) 学会発表ができる。

IV. 週間スケジュール

手術日：月、火、水、木、金曜日

術前画像カンファレンス：火曜日 7時30分～8時30分

術後カンファレンス・医局会：木曜日 7時30分～8時30分

部長回診：火曜日、木曜日 8時30分～9時00分